

<2010年度 認定計算力学技術者交流会 実施報告>

イノベーションセンター
技術者資格事業委員会
計算力学技術者資格認定専門委員会

2003年にスタートした計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業は本年度で開始8年目を迎えました。その間に本資格認定を受けた「認定計算力学技術者」は、2級・1級・上級アナリストのレベルにおいて延べ2000名を超えています。

この認定計算力学技術者のネットワーク作りおよび技術力向上のためのフォローアップを目的とし、2010年7月27日(火)に本会会議室にて「認定計算力学技術者交流会」を開催致しました。



(特別講演(1)の様子)

<プログラム>

・開会挨拶

東京大学 教授 吉村忍 (技術者資格事業委員会 委員長)

・本資格認定制度の現状と将来計画

上智大学 教授 長嶋利夫 (計算力学技術者資格認定専門委員会 委員長)

東京理科大学 教授 山本誠 (同 副委員長)

・特別講演(1)「計算の品質保証」

横浜国立大学 教授 白鳥正樹 (日本機械学会2008年度会長)

・特別講演(2)「製品開発におけるCFD活用の視点」

独立行政法人理化学研究所 小野謙二

・パネル討論「上級アナリスト資格認定者に聞く―認定資格の社会における役割―」

司会：株式会社東芝 大富浩一，東京工業大学 准教授 店橋護

パネリスト：パナソニック株式会社 岡崎亨，

株式会社リョーセンエンジニアズ 深草吉雄，

富士通株式会社 青柳敦，デンソーテクノ株式会社 村井和彦

・閉会挨拶

慶應義塾大学 教授 高野直樹 (計算力学技術者資格認定専門委員会 幹事)



(パネル討論の様子)

全国各地より29名の認定計算力学技術者(2級・1級・上級アナリスト)が参加し、最新の計算力学(CAE)の動向について耳を傾けました。パネル討論では、上級アナリスト資格認定者にパネリストとして登壇いただき、受験の動機、資格取得の効果、社内での位置付け等についての情報交換が行われると共に、設計と解析の関わり、認定計算力学技術者としての使命感について、会場も交えて活発な議論が行われました。また終了後には意見交換会(懇親会)が開催され、盛況の内に終了致しました。

今回の交流会を機会に、認定計算力学技術者同士が新たなネットワークを形成し、今後も相互に刺激しあいながら技術力を高めていくことを期待しています。